

8月26日(日)

佐々木(L)・小俣(記)

久しぶりの大阪です。帰阪の挨拶をカクテルの皆さんにしていると、佐々木さんから「例会参加者まだ無いよ。小俣さん、どう？」と声を掛けて頂く。沢好きの私としては「暑いし、八淵の滝なら沢歩きしたいなあ〜」「このまま無かったら、沢歩きでもいいよ」と言っていた。ということで25日夕方にメールを頂き沢登りで行くことになる。

当日は朝から夏日の暑さで沢には申し分ない天気である。いつものJR/バス時間で近江高島駅からガリバー旅行村へ。バス終点から旅行村の遊歩道を通り登山道へ。溪流沿いの登山道は事故多発・未整備につき現在登山禁止になっているらしいが道標は健在、溪流への分岐を入溪のため下る。鴨川に着き、入溪準備(10:10~30) 大岩ゴロゴロの川を岩の小滝を越えて行くと、立派な「魚留ノ滝」が見えてくる。巻き気味に登る。廃道化した錆びた鎖が右上に見える。正面に鎖とロープの2本立てが左壁ににぶら下がっている「障子ノ滝」が現れる。ガバを掴んで登ると、さらにその奥に滝がある。「唐戸ノ滝」のようである。1段目は斜滝なので、へつりながら登れるのだが、覗き込んだ2段目は登れそうにもなく諦めて戻る。登山道へ抜ける立派な巻き道がある(11:07)ので梯子を上がり急登に登る。ここで、S氏が胸が苦しいと言うので休む。どうやら、喘息の薬を飲んでこなかった為、気管支の調子が悪いようだ。登山道に出たら普通に歩けるということで、登山続行。登山道から「大播鉢」へ(11:35)、ダイビングスポットを楽しむ若者の一団がいる。ナメをたどり「小播鉢」をこえ「屏風滝」へ。泳ぎの淵の右に見える滝に取りついているグループがみえる。登り方を参照して行けるかなとも思えたが、”泳ぎ苦手””Sさん体調不良”ここは無理せず巻き道で行くことにする。なんと引き返す時に滑ってアゴを打ってしまう。トホホ…巻き道から立派な「貴船ノ滝」が見える。圧倒的落差！豪快！！当然登る人は無く、右の岩壁に付けられた登山道(梯子・鎖あり)に登る。やはり急登は苦しそう、滝上で大休止(12:30~)。平凡な流れを辿ると「七遍返しの滝」が出てくる。難なく登れる。オガサカ道の分岐で2:00、時間がかかってしまったが、6時のバスがあるというのでそのまま遡行を続けることにする。沢沿いの登山道はここで終了。ここからはエスケープ無しで広谷まで遡行となる。源流に近いし穏やかな溪相に見えたので、手軽に行けるかと思いきや、なかなか歯ごたえのある沢でした。

「まぼろしの滝」右から巻く。その後も小粒ながら難しい所が多く手間取る。厳しいところには、お助けロープがあり助けられる。広谷4:24着。沢靴から登山靴に履き替え、ひたすら下山となる。ガリバー旅行村5:40着。1km下の村のバス停まで6:00のバスを目指して頑張る！ところが、バスは16:00で終わり。旅行村の案内員に間違えて教えられたようだ。タクシーを呼んで帰途につく。暑い日を、涼しくアドベンチャーな1日を過ごせた

ことに感謝します。ありがとうございました。

